

2008年10月～2009年3月

- 10月12日**
・美郷町国体開催記念自転車競技会を開催
- 10月13日**
・水の郷シンポジウムを開催
- 10月**
・町営塚II住宅完成
・大田区浴場組合に、美郷町プチ特産品コーナー設置される
- 10月25日**
・町の日記念式典を開催し、功労者2名、功績者1名を表彰。本町出身で前東京都文京区長の煙山力氏を講師に記念講演行う
- 10月25日、26日**
・六郷地区を会場に美郷フェスタ2008を開く
- 11月**
・東京都大田区内の米穀販売店25店舗で美郷米の販売開始
- 11月1日**
・美郷町誕生4年目
- 11月9日**
・美郷町長選挙で、松田知己氏が無投票再選
- 11月17日**
・東北電力と災害時協力協定を締結
- 11月27日**
・美郷町学校将来構想検討委員会が町教育委員会へ「学校教育将来構想の方向性」についての提言書を提出
- 11月30日**
・秋田わか杉国体感謝大会バドミントン日本リーグ2008美郷大会を開催
- 12月**
・畑屋地区・羽貫谷地区簡易水道統合
- 12月20日**
・マーチングバンド・パトントワリング全国大会に9年連続で出場した六郷中学校が銀賞を受賞
- 12月21日**
・全国中学校駅伝大会に仙南中学校女子駅伝チームが出場
- 12月22日**
・美郷町協働参画推進委員会を設置
・町商工会青年部が開発した「美郷まんま」が町内6店舗で販売開始
- 1月1日**
・美郷町地販地消推進会議が「美郷まるごとガイドブック」を発行
- 1月5日～12日**
・美郷町中学生海外研修実施
- 2月6日**
・町商工会女性部が開発した「美郷たぬ中」が町内10店舗で販売開始
- 3月13日**
・本堂城廻村絵図が秋田県有形文化財に指定
- 3月**
・防災行政無線施設の親局、中継局を整備
・美郷町食育計画策定
・名木・古木マップ作成

**「心を結ぶ安心美郷米」
うりこめ美郷応援事業**

町では農業の複合経営の推進と併せて「うりこめ美郷応援事業」を展開。また、友好都市東京都大田区へ美郷米を販売するため促進活動を行っています。

大田区内の米穀販売店を訪れ、販売協力を依頼したところ、25店舗で美郷米の販売が開始されました。また、大田区に新米300キログラムを寄贈し、青少年育成団体を通じて大田区の子どもたちにお届けしました。

そのほか、大田区主催の各種イベントに参加し、美郷米特設コーナーを開設し、新米試食キャンペーンなど美郷米の知名度アップに努めました。



水の郷シンポジウム
「森の恵み、かけがえのない水環境を守ろう」

生命やくらし、地域の文化、産業などすべての源である水環境への関心を高め、その保全活動につながることを目的に「水の郷シンポジウム」が開催され、町内をはじめ横手市、大仙市などから約300人が参加しました。

秋田大学名誉教授の肥田登さんを講師に迎え「かけがえのない水環境を未来へ」と題した基調講演が行われたほか、六郷中学校科学部より「六郷の清水群とハリザツコの繁殖」をテーマとした研究発表などが行われ、美郷町は水の郷であるという意識を高めました。



**町の日記念式典
町誕生4年を振り返る**

式典には、町民の皆さん約400人が出席し、町民歌を斉唱。町功労者として2名、町功績者として1名を表彰しました。また、本町出身で前文京区長の煙山力さんを講師に迎え、「ピンチがチャンス！苦境の時こそ新たな展開の好機」と題して記念講演が行われました。



国体開催記念大会を開く

**バドミントン日本リーグ
2008美郷大会**



秋田わか杉国体感謝大会と銘打たれた今大会。観衆の皆さんは秋田わか杉国体を思い出すかのように熱い声援を送りました。

**美郷町国体開催記念
自転車競技会**



「ケイリン」などのトラック・レースで国体同様熱戦が繰り広げられました。

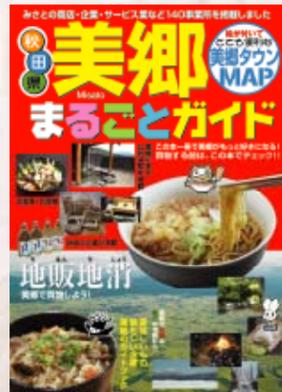


**地販地消 美郷で買って、美郷を元気に！
美郷まるごとガイドブック発行**

美郷町地販地消推進会議は、町内の商店・企業・サービスマンなど140事業所を掲載した「美郷まるごとガイドブック」を発行しました。

町民の皆さんに広く町内の商店・企業を紹介し、認知してもらい地域内での購買意欲を高めていくことを目的に、町内各世帯に配布しました。

また、美郷町商工会青年部が企画した「美郷まんま」、同女性部が企画した「たぬき中華」の開発を特産品として支援し、「美郷まんま」は12月から町内6店舗で、たぬき中華は「美郷たぬ中」として2月から町内10店舗で販売を開始しました。



「美郷まんま」「美郷たぬ中」は、のぼり旗があるお店で食べることができます。美郷の味、ぜひご賞味ください。

**「安全・安心なまちづくり」のため
防災行政無線を整備**

町では、「まちづくり交付金事業」を活用し、消防庁、気象庁、内閣官房から発令される情報（緊急地震速報・大雨洪水警報などの気象情報・武力攻撃など）国民保護に関する情報）を、地域衛星通信ネットワークを利用して受信し、いち早く住民の皆さんにお伝えする手段として、「防災行政無線」を整備しています。

平成20年度は防災行政無線施設として放送局1カ所、中継局1カ所、屋外子局2カ所を整備しました。

平成24年度までに町内に屋外子局114カ所設置完了を目指しています。



次なる歩みへ
友好都市との交流も進む